

## 第2部 事業評価



## 1. 評価の概要

### (1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

- カテゴリー1：リーダーシップと意思決定
- カテゴリー2：経営における社会的責任
- カテゴリー3：利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- カテゴリー4：計画の策定と着実な実行
- カテゴリー5：職員と組織の能力向上
- カテゴリー6：サービス提供のプロセス
- カテゴリー7：情報の保護・共有
- カテゴリー8：カテゴリー1～7に関する活動成果（前年度比）

### (2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

<b>評点&lt;カテゴリー1～7&gt;</b>
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。 1. 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。 2. ○及び●が混在する場合は、標準項目の場合にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。 3. 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素からのぞく。
<b>標語&lt;カテゴリー8&gt;</b>
1. 改善に向けた計画的な取組みが行われており、成果として現れている。 2. 改善に向けた計画的な取組みが行われているが、成果として現れていない。 3. 改善に向けた計画的な取組みが行われていない。

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること  
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること  
（偶然できているのではなく、再現性がある）

③ その根拠が示せること

(資料等で具体的に示すことができる)

(3) 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 西田保育園	平成 29 年 12 月	平成 30 年 1 月
2. 四宮保育園	平成 29 年 12 月	平成 30 年 1 月
3. 堀ノ内東保育園	平成 29 年 12 月	平成 30 年 1 月
4. 西荻北保育園	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月
5. 井草保育園	平成 29 年 12 月	平成 30 年 1 月
6. 阿佐谷北保育園	平成 29 年 12 月	平成 30 年 1 月
7. 永福北保育園	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月
8. 高円寺東保育園	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月

## 2. 各保育園の利用者調査結果

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1. 西田保育園 .....	12
2. 四宮保育園 .....	16
3. 堀ノ内東保育園 .....	20
4. 西荻北保育園 .....	24
5. 井草保育園 .....	28
6. 阿佐谷北保育園 .....	32
7. 永福北保育園 .....	36
8. 高円寺東保育園 .....	40



# 1. 西田保育園

[ver.2]

調査対象	平成29年10月の配布時点で利用している在園児54名の保護者50世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。
利用者総数	54
利用者家族総数(世帯)	50
共通評価項目による調査対象者数	50
共通評価項目による調査の有効回答者数	44
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	88.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」1名(2%)、「母」39名(89%)、無記入4名(9%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」28名(64%)、「満足」11名(25%)、「どちらともいえない」3名(7%)、「不満」1名(2%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の89%で、当園の保育に関して高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問9「園内の生活空間」、問11「緊急時の対応」であった。  
 ・総合的な感想では、「広々とした園庭など恵まれた環境で、子どもはのびのびと育てている」「平屋造りのような園舎、園庭の広さ、アットホームな雰囲気などの保育環境をととても気に入り満足している」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	43	0	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「園庭遊びや園から離れた公園に連れて行ってくれるので、体力がきました」などのコメントが記入された。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	41	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「遊びの中に昔ながらのもの(コマ、手遊び、あやとりなど)があり、とても親しみやすくて良いと思う」「砂遊びや虫捕りなど自然に触れる機会も多く、子どもの関心が増えるのが楽しみ」などのコメントが記入された。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	41	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「特に美味しかった食事を、子どもは家で作ってほしい、と言う」、「いいえ」と返答された方からは「チョコレート・パンなど、小さな子にあまり食べさせたくないものもおやつにできるのはどうなのか」などのコメントが記入されていた。				



4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「散歩が多く、散歩で拾ったどんぐりを持ち帰り、家で工作に使っている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	2	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、保育時間の変更に関して高い満足を得ている。「どちらとも」と返答された方からは「変更のお願いをあまりしたことがない」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	32	9	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	5	4	1
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	34	6	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、家庭と保育所との信頼に関して概ね満足を得ている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「整理整頓ができていると思う」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	36	6	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	40	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「以前、子どもが園で嘔吐した際、適切な処置をしてもらい、その詳細を電話で伝えてくれました」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	33	6	3	2
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「いいえ」と返答した方からは「子どもの叱り方に疑問に思う場面を見たことがある」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	33	9	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、子どもの気持ちの尊重に関して概ね満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	33	5	1	5
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	35	6	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「お便りで、園での様子を記載してもらえるのは、とても嬉しい」「全体的な通知は貼り出し日誌のみです」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	30	6	2	6
「はい」と返答した方々は回答者の60%。「どちらともいえない」14%、「いいえ」4%。非該当・無記入18%であった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	14	13	3	14
「はい」と返答した方々は回答者の32%、「どちらともいえない」30%、「いいえ」6%、非該当・無記入32%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>

カテゴリー1の講評

保育理念、保育目標を事務所と玄関に掲示し、保護者・職員等に周知している

保育理念、保育目標を事務所と玄関に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している。また、「西田保育園のしおり」にも、保育理念・保育目標・保育方針を明記し、保護者・職員等に説明している。保育理念・方針・目標などは保育課程に明記し、職員個々に配布し、周知している。毎年、4月に、年間指導計画を作成する際、職員皆で保育理念・保育目標・保育方針を確認し合い、その実践に努めている。保護者に対しては、入園時の個別面談や入園説明会で、保育目標などを説明している。

園長・主査等は、今後の園運営について、保護者に対して丁寧に説明している

平成32年3月の閉園に向けて、毎年在園児の人数や職員体制等が変わっていく状況のなか、園長・主査等は園の運営については保護者に不安を与えないように丁寧に説明を行っている。また、職員に対しても、閉園に向けての園運営や職員体制について丁寧に知らせ、理解を得られるようにしている。閉園まで、職員のモチベーションを維持し、保育の質を低下させることなく、子どもが安心して過ごせる園であるよう努めている。園長は、園長会の内容について職員へ周知し、区の保育行政の動向について伝えている。

「定例会議」など、園の問題課題について検討する場をさまざま設けている

園の重要案件を検討する場として、「定例会議」(週1回)を設け、常勤職員全員が参加対象である。また、毎日、昼のミーティングを開催し、約15分ほど、園の課題について話し合っている。その他、「プロジェクト会議」「職員会議」や、各クラスのミーティング、幼児打ち合わせなどの場も設け、現場の問題課題について検討している。これらの各会議で決定したことは記録し、全職員に周知している。保護者に対しては、「園だより」「クラスだより」等のお便りや、「貼り出し日誌」、掲示物などを通して周知している。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

新しくなった保育所保育指針の勉強会を行い、保育士のあるべき姿を確認し合っている

「全国保育士会倫理綱領」を事務室に掲示し、保育士として遵守すべき倫理などを明示している。また、「すぎなみ公務心得三則」を事務室に掲示し、杉並区役所職員としての遵守事項を職員へ周知している。杉並区立保育園の目指す保育や保育士としてのあるべき姿を「杉並区立保育園保育実践方針」で明示し、パート・アルバイトも含めた全職員に配布し、学び合っている。新しくなった保育所保育指針に関する勉強会を行い、保育士としてのあるべき姿を確認し合っている。

地域の子育て支援事業として、「園庭開放」「身体測定」を実施している

地域の子育て支援事業として、月曜日から金曜日の10時～11時、「園庭開放」を実施し、約10組の親子が利用している。また、月1回、「身体測定」も行っている。「園庭開放」「身体測定」に参加し、園庭や保育室で園児と一緒に遊んだり、保育士が育児相談に応じたりもしている。地域の小学校の授業の一環としての活動(地域訪問等)を受け入れたり、近くの児童館に遊具を貸し出し、地域貢献に寄与している。また、地域の方々とのお付き合いを大切にしており、良好な関係が築かれている。

ボランティアセンターと連携し、ボランティアの受け入れ体制を整えている

ボランティアセンターと連携し、ボランティアの受け入れ体制を整えている。園長または主査が、ボランティアの受け入れ窓口になり、活動初日にオリエンテーションを行っている。2団体による絵本の読み聞かせのボランティアが活動している。また、近所の方が稲を持って来たり、近くの駐在所の方が運動会のときに警備をしてくれるなど、地域の方々が園運営に協力してくれている。中学生の職場体験も来ており、子どもたちにも中学生にも、互いの心の育ちにとって大事な経験になっている。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>区の苦情調整委員制度についてのポスターを掲示し、保護者に周知している</p> <p>玄関横に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。入園時、「西田保育園のしおり」を使って、杉並区の苦情調整員制度について周知している。いつでも誰もが意見や苦情を表明できるよう、意見箱を置いている。保護者からの苦情・意見・相談は、直接口頭や連絡帳、電話相談などで寄せられている。保護者からの意見、要望・苦情は、毎日の昼のミーティングなどの場で、速やかに職員間で共有し、対応策について話し合い、保護者にフィードバックしている。</p> <p>「ほっとティータイム」を実施し、保護者の意向や希望を把握している</p> <p>運動会実施後、保護者が感想を書き込み、保護者の運動会に対する要望などを集約し、園だよりでフィードバックしている。前年度から「ほっとティータイム」を年2回実施し、保護者が気兼ねなく、話しやすい雰囲気をつくり、保護者の意向や希望を把握している。各クラス保護者会の開催にあたっては、事前に保護者へアンケートを実施し、保護者の意向を把握している。保護者からの「貼り出し日誌の場所が見づらい」などの意見を受け、貼り出し日誌の場所を変えるなど、改善できることはすぐに解決に動いている。</p> <p>地域懇談会や、地域子育てネットワーク連絡会などに参加し、地域ニーズを収集している</p> <p>区保育課主催の地域懇談会(区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設)に参加し、保育に関する情報を収集している。児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、近くの児童館に出向き、地域の子育て中の保護者と話をしたり、区発行の各保育施設冊子等の資料を保育の参考にもらっている。また、園長会や区保育課主催の研修、研究会の講演会などに参加し、情報収集したり学びを深めたりしている。区の保育のあり方検討部会の報告書からも情報を得て、職員へ周知している。</p>		

カテゴリ-4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリ-1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(0000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(0000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当



サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

「係の目標シート」を使って、組織目標を定め、半期ごとに反省・評価を行っている

区では中長期計画としては、平成27年度から平成31年度(5か年)までの「杉並区保健福祉計画」を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

危機管理マニュアルに基づき、迅速に災害・事故などに対応できるようにしている

危機管理マニュアルに基づき、災害・事故などのあらゆる危機や、朝夕、延長保育時など、職員が一人に対応しなくてはならない時など、場面を想定し、的確かつ迅速に対応できるようにしている。感染症が流行る11月～3月にかけて、区のシステムに毎日感染状況を入力し、また、情報を収集している。区主催の感染症研修に職員を派遣し、受講後、全職員で共有している。嘔吐物処理キット一式を各クラスに置き、迅速に処理できるようにしている。

月1回、火災・地震を想定した避難訓練を行っている

月1回、火災・地震を想定した避難訓練を行っている。避難訓練は園の現状に合わせてさまざまな場面を想定し訓練を行っている。防災計画表に基づき災害時の役割分担も明確にしている。Jアラートが発令された場合、園内外での対応を想定して、職員間でシミュレーションも行っている。特に園外にいたとき、どこに避難すればよいのかを職員各自で確認している。年2回、不審者訓練を実施しており、その内の1回は警察署と連携し、アドバイスをもらっている。もう1回は、子どもが避難する訓練を行っている。防犯カメラも設け、防犯強化を図っている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

8/8

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

7/7

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>区の「保育園職員人事異動基準」に沿って、定期的な人事異動を行っている</p> <p>区の「保育園職員人事異動基準」において、職種ごとに在園の年限を定め、適材適所の人材配置を行っている。また、区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている。園長との面談を行い、目標への達成度を振り返る機会を設けている。また、随時、目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。クラス担当を決める際は、職員へのアンケートを実施し、職員個々の希望を聴き取り、希望に沿わなくなる人には園長から説明している。</p> <p><b>保育のスキル向上に積極的に取り組んでいる</b></p> <p>職員育成は、区保育課・人材育成課主催の研修や園内研修、外部研修、OJT、自己啓発などで行っている。研修派遣は、本人の希望や園長による指名などで、全職員が研修参加できるよう勤務調整し、専門性の向上を図っている。園内研修では、事例討議を行い、意見交換し、互いの保育の視点などを知り、学びを深めている。研修受講後は、報告書を作成し、会議などで報告し、共有している。職員一人年2回以上研修に参加しており、保育のスキル向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>園長・主査等は就業状況を把握し、必要な休暇等の取得に努めている</b></p> <p>園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な休暇等の取得に努めている。夏季休暇5日は必ず取得している。有給休暇の取得率は50%以上である。残業も職員一人月10時間以内となっている。出産・育児中であっても、安心して働き続けられる職場環境をつくらせている。年1回のパート職員との面談や、パート職員全員を集めての話し合いをし、自由に意見を言ってもらえる機会を設けている。幹部層は、職員の気になる様子があればすぐに声をかけ、話を聴き、やる気をもって仕事ができるようサポートしている。</p>		

カテゴリー7

7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1(7-1)

情報の保護・共有に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

7/7

評価項目1

事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー7の講評

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行うなど、記録類の適切な管理を行っている。個人情報は事務所の施錠できる場所に保管している。事務所から持ち出す時は記録するとともに、持ち出しの理由等を確認している。

杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の運営管理を行っている

杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。保護者への写真データの貸し出しも、個人情報保護に基づいて手順が決まっている。

入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している

正規職員に対して、入職時の研修で、区の個人情報保護方針などについて教育指導している。「西田保育園年度初め確認事項」に個人情報の取扱について詳細に記載し、パート・アルバイトも含む全職員に対して、同書面を配付し、説明している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が、活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園長・主査・向上リーダー2名が中心となり、保育の質向上に取り組んでいる

- ・園長・主査・向上リーダー2名が中心となり、園内研修と係の目標申告の策定を行い、共通認識を以って、園の組織目標や保育計画、園内研修などを円滑に進めている。
- ・地域の子育て支援として、園庭開放、身体測定を実施しており、そのPRのためのチラシやPR看板などを見直し、大きくしたり、見やすくするなどの工夫をしている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

向上リーダーを2名配置したことで、園内研修が充実してきた

- ・前年度は1名だった向上リーダーを2名にしたことで、園内研修が充実し、職員一人ひとりの保育に対する考えを確認することができた。また、園内研修を通して、日々の保育の振り返りを行い、保育を見直す機会となっている。
- ・日々の保育の中から、課題や掘り下げて考えたいこと、悩みなどを出し合うため、各クラスの打ち合わせの時間を工夫してつくっている。その際は、気になることや聴いてみたいことなどについて、自由な意見交換の場として取り組んでいる。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人情報を施錠できる場所に保管し、個人情報の管理徹底に取り組んでいる

- ・日誌などの個人情報を施錠できる場所に保管し、事務室に誰もいないときは、事務室の出入り口を施錠し、個人情報の管理徹底に取り組んでいる。
- ・現在の定数では3歳児数が多いため、バランスがとれるようにグループ分けして、異年齢同士の交流を図り、クラスを越えたつながりが持てるよう取り組んでいる。
- ・保護者会、クラスだより、日々の貼り出し日誌などを工夫して、子どもの姿がよりわかりやすく伝えられるようにしている。
- ・保護者同士や職員との交流ができる場として「ほっとティータイム」を実施し、保護者が話しやすい雰囲気をつくっている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は、平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については、平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者に対して、こまめに保育の様子を伝え、安心していただいている

・前年度末に今年度の3歳児のクラス編成について保護者に伝えましたが、不安を感じている方もいたため、保育の仕方を工夫し、保護者に説明した。また、個々の子どもの成長発達を保護者と共有できるよう、朝夕の送迎時や、面談時などの伝え方を工夫したり、こまめに保育の様子を伝えるようにしてきた。その結果、保護者の不安の軽減が図れている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p>区のホームページや広報紙、保育施設情報誌などで情報提供している</p> <p>区のホームページや広報紙、保育施設情報誌「保育施設利用のご案内」や「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。区のホームページの「施設案内」から、当園の概要や保育目標、主な行事、園の特色、見取り図、園の外観や園で子どもたちが遊んでいる様子の写真など見ることができるようになっている。定員の項目には平成31年度をもって閉園する施設であることを明記している。また、園の門には地域の人向けに「園庭開放や身体測定」のポスターを掲示している。</p> <p>行政や地域の子ども関係機関などと情報交換し、連携している</p> <p>区立直営園であり、保育課には延長保育の実施状況、欠席児童などの月報や感染症、下痢嘔吐などの毎週報告など、運営に関してさまざまな報告、連携をしている。地域の児童館が事務局になっている、子育てネットワークの一員として、小学校、児童館、中学校、小学校PTA、青少年育成委員会、民生児童委員などと情報交換している。同ネットワークの行政連絡会のメンバーとして、小学校・中学校、図書館、保健センターなどとも連携している。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流し、連携している。</p> <p>見学の問い合わせには随時対応し、概要を渡して園内を案内している</p> <p>当園は平成32年3月に閉園することになっているため、現在は3・4・5歳児のみの園になっており、定員が満たない3歳児のみの募集になっている。見学の問い合わせには随時対応しているが、入園希望の見学者には、園の今後のことを伝えて見学してもらっている。園の概要を渡して園舎内を案内し、保育目標や主な散歩コース、園独自の活動などを説明し、保育の特徴として、園庭でよく遊び、散歩などにもよく行っていることを伝えている。今年度の見学者は1名のみである。</p>			
サブカテゴリ2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2の講評

**健康診断や面接、入園説明会で、重要事項や園のルールなどを説明している**  
 2月中旬に園医による健康診断と入園面接を実施した後、「家庭状況調査票」を基に、園長が保護者の就労状況や家庭の事情、要望などを聴き取り、保育時間を決めている。入園に際して準備してもらう物についても説明している。3月下旬の土曜日には入園説明会を実施して「園のしおり」や「園ご利用にあたって(重要なお知らせ)」を基に、重要事項や園のルールなどを説明している。園の概要や保育理念や方針、保育目標、保護者へお願いしたい事柄などを説明して、園内を案内し、生活の仕方などを説明している。

**子どもや保護者が園に慣れるまで、個々に応じて不安やストレスに配慮して対応している**  
 今年の入園は転園児のみであったため、初日は屋食までの午前中保育とし、翌日からは保育時間通りに預かっている。特に不安が強いような子どもの場合には、保護者の意向を踏まえて、可能な状況であれば、1~2週間を掛けて徐々に保育時間を延ばしていくこともある。入園当初は、子どもの園での様子を保護者に細かく伝えたり、担任保育士が対応するなどの配慮をして、子どもや保護者との信頼関係を早めに築くようにしている。

**退園や卒園の子どもや保護者には不安を軽減するように配慮している**  
 引越しなどで退園する場合は、本人の作品などを返して、クラスの子どもたちから手作りの絵などをプレゼントし、簡単なお別れ会をしている。保護者には新しい子育て環境に対する心配事などを聴き、「何かあれば、いつでも園に来てください」と伝え、区内や近隣区市の場合には夏祭りや運動会には遊びに来てくれるように誘っている。卒園の場合は、保育所児童保育要録を小学校へ提出する旨を保護者に伝え、5歳児の保護者会では、近隣小学校の入学のしおりから抜粋した資料を基に、「就学に向けて子ども・保護者に望むこと」などについて説明している。

サブカテゴリ-3

3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
---	-----------------	------------------	-------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当



評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>子どもの心身や生活状況、日々の保育の様子などを把握し、保育日誌などに記録している</p> <p>入園時には健康診断や面接を実施して、子どもの心身や成育歴、健康状態、入園までの生活状況などを聴き取っている。毎月の身体測定や年2回の定期健康診断などで子どもの発育状況を把握して、健康カードなどに記録している。そして、日々の保育や子どもの様子を保育日誌に記入し、児童票には3か月毎に子どもの発達状況などを記載している。保護者のニーズや課題については保護者会や個人面談などで把握して、保護者会記録や個人面談記録をつけている。</p> <p>指導計画はクラスの担任が子どもの様子やクラスの状況を振り返り、作成している</p> <p>前月の子どもの姿やクラスの状況などを振り返り、それぞれの担任がクラス打ち合わせなどで話し合って指導計画(月案)を作成している。毎月初めに、指導計画会議を実施しているが、事前に全職員にクラスの月案を配布して目を通してから参加してもらい、意見交換をしている。子どもの姿の見方や捉え方、予定している活動の展開の仕方などに質問や意見が寄せられている。月案は、3歳児全員の個別計画を作成し、4・5歳児については、配慮が必要な子どものみ個別配慮を記入している。</p> <p>子どもや保護者に関する情報を共有するためにミーティングなどの会議を開いている</p> <p>月曜日～金曜日の午後にはミーティングを実施している。ミーティング内容は園日誌に記録している。出席人数、欠席児の理由、子どもの健康状態・怪我・保護者の連絡や変更事項、行事、職員会議、職員体制、連絡事項などを報告・確認している。各クラスでは、クラス毎の記録ノートを使い、参加できなかった職員に報告している。クラスで報告を受けることができなかった場合には、園日誌を見ることにしている。その他、定例の職員会議も実施している。</p>		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリ-5の講評</b>		
<b>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</b> 入園時に個人情報の取り扱いや、園でのビデオ撮影や写真撮影についてのお願いを説明して、同意書ももらっている。外部からの撮影依頼があった場合などは保育課に報告し、保護者の同意を得てから依頼を受けている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換やおもろしの着替えは衝立を置くなどして外部からは見えにくいようにして行っている。プールやシャワーなどは、すだれを掛けて外から見えにくいようにし、部屋に入る時は大きめのバスタオルなどで、身体を覆って入るように指導している。		
<b>一人ひとりを尊重し、その子の誕生日に誕生会を実施している</b> 誕生会は、原則、本人の誕生日当日に各クラスでお祝いをして、誕生日カードを渡している。4歳児組ではクラスだけで紹介している。5歳児組ではその当日の給食に本人だけに誕生日プレートを提供し、皆と同じ献立であるが盛り付け方や食材の切り方を変えるなどして特別感があり、喜ばれている。3歳クラスはその日の朝にボードにその子の写真を飾って皆に見てもらっている。一人ひとりお誕生日にはバッチを付けて、皆に「お誕生日おめでとう」とお祝いの言葉ももらっている。		
<b>職員の言動などで気になる場面があれば指導し、職員間で討議している</b> 指導計画を話し合う中で、子どもの権利についての話をして「子どもの名前を呼び捨てにしない」「一人ひとりの感性を受けとめること」などを職員間で共有しているが、子どもの名前を呼び捨てしている場面や子どもが理解しにくい声掛けなどを見かけたり、聴いたりした時などには、園長や主査が指導をしたり、職員間で討議したりしている。また、虐待が疑われる家庭がある場合には、「虐待未然防止及び虐待対応マニュアル」に沿って、家庭支援センターと連携して対応することになっている。		

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1  
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

区立園共通の「危機管理マニュアル」を整備し、園独自のマニュアルを作成している

「危機管理マニュアル」などの区立園共通のマニュアルが整備されている。園独自のものとして、「パート職員の仕事内容」、「当番保育の手順」、「西田保育園危機管理マニュアル」、「散歩マニュアル」等を作成している。これらは、事務室に保管して、職員がいつでも必要な時に確認できるようにしている。年度末反省の時などに、防災訓練や避難訓練なども一緒に、振り返りと見直しを行い、次年度に活かしている。

業務の手順書類は半期・年度末、あるいは随時に、見直しをしている

園で作成している仕事の手引書類は、半期や年度末の反省時に検討し見直しをしているが、中でも「パート職員の仕事の手順」「当番保育の手順」などは、子どもが成長して様子が変わったり、パート職員の変更があった場合などには、必要に応じて提案し、見直しをしている。また、運動会などの保護者参加行事終了後には保護者から寄せられた感想などを職員会議で検討して、次年度に活かせるようにしている。

区の主催する実務研修や区教育センター主催の研修などで学んでいる

区の主催する実務研修では、「保育の向上を考えるリーダー会議」年6～7回、「保育の中の危機管理」、「食品の衛生講習会」、「チームワークから考える保育者支援」、「乳幼児期に大切にしたい子どもの遊び」などに参加している。また、区教育センターが主催する「幼保小連携教育研修会」が年間複数回開催されており、参加して学んでいる。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4

サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
-----------	------------------	-------

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)
---------------------------------------	------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目1の講評

子どもの年齢にあった玩具類を用意し、遊びたくなるように環境設定している  
 保育室には、ままごとや木製の積み木などのコーナーを作り、棚にはパズルやゲーム類の机上遊びの玩具類を揃えている。ままごとのコーナーのキッチンには手作り具材が幾種類も並べられ、人形は手作り布団のベットに寝かせてあり、人形の着せ替え洋服類も豊富に用意して、子どもが遊びたくなるような設定にしている。また、子どもが自分のスペースを確保する段ボール製の手作り仕切りもあり、子どもたちはよく利用している。積み木のスペースは広めにし、ダイナミックに積み木遊びができ、遊びの続きもできるようにしている。

3・4・5歳児の人数バランスを考えてグループを編成し、縦割り活動をしている  
 月に1回、縦割りの活動をして、秋からは3歳児も参加している。現在、3歳児が多く4・5歳児が少ないという年齢構成のために、3・4歳児のペア、3・5歳児のペアなど人数のバランスを考えて組み合わせた2グループを編成している。各部屋にコーナーを作って園内を周って遊んだり、散歩と園庭に分かれて遊んだりし、運動会では紅白に分かれて玉入れをしたりしている。秋からは縦割り活動の日には、同じグループの子ども同士で会食をしている。

特別な配慮が必要な子どものできないことは援助し、他の子どもとの仲介をしている  
 特別な配慮が必要な子どもには、本人のできる部分を増やすようにしながら、本人ができないことは援助している。他の子どもとの関わり方は本人の好きな遊びを通して楽しめる環境を工夫している。製作遊びでは、本人が理解できるように、個別に説明したりできないことは援助したりしている。自分の思いを態度で示すこともあるので、「～したかったから、～したと思うよ」と保育士が子どもの思いを代弁してほかの子どもとの仲介をしている。

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点(〇〇〇〇)
---	----------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている

登園時には挨拶をして、子どもの顔色や機嫌などの健康観察をし、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている。前日に体調を崩し気味であったり、園で怪我をした時には、特に詳しく聴き取り、各クラスの受託簿に記入している。受託簿には、登園時間・降園時間と連絡内容を記入している。保護者から聴いたことや保護者に伝えたいことも記入し、保護者とのやり取りは赤字、保育士の覚書や保護者から聞き取ったことは黒字で書き、わかりやすいようにしている。当番保育士は受託簿の受け渡し時に、担任と口頭による引き継ぎも行っている。

休息(昼寝を含む)の時間は子どもの状況により配慮している

3・4・5歳児共に食後少しお腹休めをしてから布団に入っている。寝る時には下着を脱いで薄めの上着にし、1枚で寝ている。午前の戸外遊びの後に着替えてから給食を食べ、昼寝した後下着を一枚足す方法にしている。5歳児の昼寝については、例年就学に向けて、少しずつ短い時間にしていき、3月末には寝ないで過ごすようにしており、今年度も子どもの昼寝の状況や保護者の意向を確認し、何時ごろから実施するのかを検討中である。

お迎え時には子どもの状況を一人ひとり伝えるように努めている

お迎えの保護者には「おかえりなさい」と声を掛けて迎え、日中の一人ひとりの子どもの様子を伝えるように努めている。保護者や家族以外の人が迎えの場合には、連絡ノートや連絡用紙を使って個別に連絡している。当番保育士が伝える場合には、受託簿を使って担任と引き継ぎを行い、連絡事項など漏れなく伝えるようにしている。保育をした担任が伝える必要がある場合には、お迎えを待って直接伝えている。園で怪我をした時には、担任、園長あるいは主査が、怪我をした時の様子や怪我の状況、処置などを保護者に伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもがじっくり遊べるように、スペースと時間を確保している

2年後の開園に向けて、現在は乳児組がない状況であるために、部屋にゆとりがあり、4歳児室では、部屋を食事など机を置くスペースと、積み木遊びのスペースを用意している。3歳児は、前半は2グループに分かれて生活していたが12月現在は一緒に生活しているために、2部屋を食事のスペースと昼寝などをするスペースに分けている。出来た物を飾っておく棚も用意している。また、登園後、子どもがじっくり好きな遊びに取り組む時間を確保して、10時頃からその日の予定した活動など入り、昼食時間は12時頃になっている。

子どもたちが意見を出し合ってお店やさんごっこをしている

7月の夏祭りの午前中には、子どもたちの縁日ごっこを実施した。5歳児は、どんなお店屋をしたいか、お店の品物はどう作るのかなど、子どもたちが意見を出し合い、担任と相談しながらすすめている。子どもの思いを実現できるように保育士がサポートし、「たこ焼き屋」「かき氷屋」「綿あめ屋」を出店することになった。形作ったたこ焼きに絵の具のソースを塗ったり、かき氷に色を付けて、本物のように美味しく仕上げたりして楽しんで作り上げた。当日はお店スタッフとお客の二役で忙しかったが、自分たちでやり遂げた満足感の一日になった。

身体を動かしたり自然を感じたりして、自由に遊べる園庭環境作りをしている

日当たりがよく、ブルーベリー、ゆずら梅など実のなる木や、畑のある自然豊かな園庭では、草花摘みや砂、泥遊び、虫探しができ、走り回って鬼ごっこができる。鉄棒や滑り台、砂場などの固定遊具の他に、マルチパーツ、ゴザ、お風呂マット、タイヤなどの可動遊具を子どもが使いやすい場所に用意して自由に使うことができるようにしている。現在、園児が幼児のみとなっているため、園庭も広く使うことができる。子どもたちは思い思いに好きな遊びでじっくりと遊んでおり、砂場のお皿を使って細かな砂を作る技も身に付けている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事などで見たこと、経験したことからイメージを広げ、ごっこ遊びに繋がっている</p> <p>園庭の畑でさつまいもを栽培して、4・5歳児が芋ほりをして、芋の長いつるを「よいしょよいしょ」と引っ張ったり、掘った芋を園庭に並べて干したりしている。数日後、焼き芋をして全園児で焼き立てを食べている。この様子をずっと見てきた3歳児は、「おおきなおおきなおいも」の絵本を基に、お芋の葉っぱ作りをして、葉っぱがついたさつまいものつるを製作した。芋ほりの様子も見ていたので、立体的な大きな芋も製作し、葉っぱと芋を付けて、お芋ほりごっこをして遊び、「お芋、今度は何にして食べようか」とイメージを広げ、繰り返し遊んでいる。</p> <p>運動会のリレーでは、勝負だけではなく、お互いの頑張りを喜び合える経験をしている</p> <p>運動会では5歳児は「リレー」に取り組んだ。最初の頃は、バトンをつなぐのが楽しく勝敗を気にせず走っていたが、次第に勝負に拘るようになり、組み分けや走者順などの話し合いを重ねてきた。子どもたちから「勝ちたい」「気にしない」「頑張っても負けることがある」「ぬかされたらぬかかえせば良い」など、さまざまな意見出され、取り組んできた。当日は、雨天の為に近隣の施設の体育館で実施し、広いコースが取れて、日頃勝てない方が勝ち、「よく頑張ったね」、「楽しかった」などお互いの健闘を口に出す姿が見られた。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を詳細に伝えている</p> <p>年間行事予定表を年度始めに発行し、園だよりや保護者会などで知らせ、予定してもらっている。貼り出し日誌やクラスだよりなどで、行事に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を詳細に伝えて、理解し楽しみにしてもらっている。園主催の夏祭りには、父母会が、いろいろな魚を作って、魚釣り店を担当してくれている。17時頃から子どもの神輿を繰り出し、5歳児の踊りを見てもらい、お店屋さんが開店し、参加者皆で盆踊りを踊って、18時30分頃まで開催している。運動会では父母競技の種目や親子競技も取り入れている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕保育時は子どもの人数に応じて、2集団から1集団に変えている</p> <p>17時から当番保育士による夕保育になり、3歳児と4・5歳児の2集団にし、18時頃には1集団の異年齢合同保育にしている。18時30分から1時間の延長保育を実施している。延長スポット保育を含めても利用児はそれほど多くはないが、職員は正規職員1名パート職員2名、補食用のパート1名を配置している。</p> <p>子どもが安心して落ち着いて遊べるように専用の玩具などを用意している</p> <p>ままごとコーナーに畳のスペースを用意しているので、ゆったりとして過ごしている。異年齢で一緒にままごとなどで遊んでいる様子も見られている。いつも同じパート職員であることも子どもの安心感につながっている。朝夕保育用の玩具として、日中使っている物とは違うゲーム類、大人と一緒に遊べるような玩具などを用意している。</p> <p>夏場には夕方まで園庭で遊んでから、室内でゆったりと過ごしている</p> <p>夏場には、午後3時過ぎの日差しは強くて園庭に出られないため、少し涼しくなった夕方から18時頃まで、園庭で遊んでいる。室内に戻ってからは、異年齢の子どもたちが大人と一緒にゲームで遊んだり、折り紙を折ったり、保育士に絵本を読んでもらうなどしながら、ゆったりと過ごせるようにしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

3歳児では、スプーンやフォークの使い方などの食事指導に力を入れている  
 食事の時には、座席の位置を決めて、いつも同じ友達と一緒にご飯を食べている。3歳児では、前半は、食具のスプーンを使用しすくって取り込むことを大事にしてきたが、今ではフォークで刺して食べるなど、食事により使い分けをして食べることができるようになってきた。箸は4歳児の後半から家庭での使用状況を把握して使い始め、5歳児では箸を使用している。3歳児は食事の挨拶「いただきます」は準備ができた子どもから行っている。食事の配膳は、5歳児では食事当番が行い、4歳児も汁物以外は当番がしている。

子どもの体調(食物アレルギー児も含む)に応じた食事を提供している  
 病気など(食物アレルギー児も含む)への対応は、「食物除去申し込み書」を提出してもらい、必要な除去を行っている。食物アレルギーの場合には、定期的アレルギー検査を受けてもらい、結果を確認している。「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って対応し、調理室内では調理職員間でチェックし、調理室と給食を受け取りに行った保育士との間でもチェックをして、誤飲・誤食を防止している。食物除去対応児には、トレー配膳をしている。

野菜の栽培をしたり、食材の下処理など食に関わる経験をしている  
 日当たりの良い園庭の畑やプランターで、ズッキーニや枝豆、ピーマン、スイカ、さつまいも、なす、じゃがいもなどの野菜を栽培している。子どもたちは水やりをしながら野菜の生育を観察し、花が咲き、実がなるのを楽しみに見ており、収穫して、調理室で炒めたり和えたりしてもらい、採れたて野菜を食べている。とうもろこしの皮むき体験やラップを使ったおにぎり作りなど、食材の下処理や調理などもしている。保護者には保護者会の時に給食の試食をしてもらっている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当



評価項目7の講評

自分の健康や身の安全に関することを伝えている

応援園の看護師から、風邪の話をしてもらう。歯科衛生士から、歯の模型を使ったり、エプロンシアターなどで、子どもにわかりやすく歯の大切さを伝えて、上手な磨き方を教えてもらっている。日常の保育の中では、手の洗い方やうがいの大切さなどを伝えている。プール遊びの前には、朝ご飯を食べることの大切さや排便のことなども伝えている。散歩の時には、道路を歩く時の交通ルールを伝え、公園などでは危険な遊び方をしないことや危険な場所には行かないことなどを伝えている。

園医による年2回の定期健康診断などを受けている

園での薬の預かりは、原則していないが、子どもが健康生活を送る上で必要である薬は、医者処方薬に限り「与薬票」を提出してもらい預かっている。現在はアトピーなどの塗り薬を預かり、塗っている。園医の小児科医には年2回の定期健康診断、歯科医には年1回の歯科健診を受け、眼科・耳鼻科医には年1回健診を受けている。就学前の5歳児は看護師による視力検査を受けている。小児科医の園医には、子どもの健康に関する相談をして助言をもらうことがある。

保護者と連携して、子どもの健康維持に努めている

感染症に関する情報は保護者の目に付きやすい、事務室の窓側に掲示している。園で感染症が発生した場合は、病名、主な症状、注意点を掲示して、注意を喚起している。毎月発行している保健だよりは、連携園の看護師に原案を作成してもらい、園の情報を掲載するなどして発行している。主な掲載項目は月の保健行事、歯磨き、夏の感染症、熱中症対処法などであり、子どもの健康維持に向けた情報などを掲載している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

就労や家庭の事情に変化があった場合には、申し出てもらい、可能な限り受けている

登降園時の会話や個人面談など、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。保護者の就労状況や家庭状況に変化があった場合には、申し出てもらい、可能な限り柔軟に対応している。急な残業などで迎えが遅くなる場合には連絡をもらって、受けているが、18時30分以降には延長スポット保育で受けている。急きよ土曜日に仕事になった場合も、保育を行っている。

保護者会や夏祭りなどで、保護者同士の交流ができるようにしている

保護者会では、園から話をするだけでなく、保護者同士の活発な意見交換の時間が取れるように、時間配分などを考慮している。保護者にとって興味のあるテーマで話をしてもらうように、アンケートを実施したり保護者に直接聴き取ったりしている。父母会活動も盛んに行われており、園主催の夏まつりには、父母会にも魚釣りコーナーを担当してもらい、子どもたちが喜ぶ魚を作ろうと、知恵をしぼり用意してくれたりしながら、クラスを超えた保護者同士の交流が行われている。

保育参加や保護者会などで、子どもの様子を観てもらう機会を作っている

保育参加・参観は、申し出てもらい実施しているが、3・4歳児の参加はあまり多くはない。5歳児の保護者の保育参加は12月現在、半数程である。保護者からは、「園での子どもの様子が見られて良かった」、「子どもがとても喜んでくれました」などの感想が寄せられている。個人面談は夏から秋にかけて実施している。2回目の保護者会では懇談のあとで、成長した子どもの様子を見てもらう機会を作っている。内容は、劇遊びの発表やおみせやさんごっこに参加してもらうことなどであり、子どもたちとクラスの状況で決めて実施している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流し、連携している</b>  5歳児が併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)との交流をしている。年1回ゆうゆう館の行事に招かれ、園児が歌を披露したり、高齢者の方々のフラダンスを見せてもらい、お手玉や輪投げ、あやとりなどをして一緒に遊んでいる。お茶会では、ゆうゆう館の和室を借りて茶道の体験もしている。総合防災訓練はゆうゆう館と一緒に実施しており、園庭で運動会や焼きいも会を実施する際には、お知らせをしている。そのほか、清掃事務所からごみ収集車(ごみパッケン)に来てもらい、環境学習をしている。</p> <p><b>夏祭りや運動会には地域の方々も参加できるようにしている</b>  園行事の夏祭りや運動会のポスターを子どもたちが手作りして、小学校や児童館、近隣の保育園や商店などに貼り出してもらっている。7月の夏祭りには、指人形などのシアターやワニ叩き・お面作りコーナー、お茶コーナー、魚釣りコーナーなどを用意して、園児と保護者、地域を含めて200名程の参加者になっている。10月の運動会は、お誘いをしたが、雨天の為に、地域の参加はなかった。お話しボランティア2グループに月1回、手品のボランティアも年に1回子どもたちと交流している。</p> <p><b>地域の認可保育園や保育室から園庭に遊びに来て、泥んこ遊びをしたりしている</b>  地域向けの子育て支援としては、「園庭開放と地域身体測定」、「子育て相談」を実施している。「園庭開放」は12月現在1・2歳児の親子の9組の参加があり、身体測定は毎月第3水曜日に実施している。地域の認可保育園や保育室から園庭遊びに来て、泥んこ遊びなどを行っている。年2回行われている地域ネットワークの「あそび市」には、職員がエプロンシアターなどを見せたり子どもに木の玩具を提供して遊ぶコーナーを出している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	自然に恵まれた環境を利用しながら、子どもに豊かな遊びを提供している	
内容①	日当たりが良く、広めの園庭には畑やクローバーの草地があり、虫探しや泥遊びができる。タイヤやマルチパーツ等の可動遊具を揃え、好きな遊具類を自分で使ってじっくり遊べるようにしている。畑で栽培したじゃがいもやさつまいもを掘ったり、芋のつるで遊び、つるを利用してリース作りをしている。また、園の周辺には公園が多く、川べりの都立公園が続いており、安全で散歩に適している。お花見やどんぐり拾い、川辺の野鳥観察、木登りなどでもできる環境で、いつも季節の自然を肌で感じながら散歩を楽しんでおり、子どもたちは良く歩いている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	子どもが主体となり、イメージを広げて取り組めるごっこ遊びに取り組んでいる	
内容②	12月には4・5歳児でお店屋ごっこをしている。どんなお店にしたいか、子どもたちと話し合い、たくさんお客さんが来てくれるような店を考えて、品物作りを楽しんでいる。4歳児は2店舗で、おもちゃ屋とお菓子屋で鯛焼きとお団子の店、5歳児はお弁当屋、キャンディやチョコのお菓子屋、スーパー銭湯の3店舗を出すことになった。保育士は子どもが取り組みたい時にいつでもできるように材料を用意をし、製作は自由な遊びの時間を使いながら少しずつ取り組み、子どもたちはイメージやアイデアが実現する喜びを感じて、皆で協力して取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル③	園内研修ではグループ討議を導入し、保育力アップを図っている	
内容③	園内研修を実施し、職員全体の保育力アップを図っている。グループ討議を取り入れており、遊びの内容についての話が出た際は、「一人ひとりが遊ぶのではなく、自然に関わりを持てるようにしたいが、どうしたらよいのか」といった若手職員からの質問にベテランの先輩職員がアドバイスをしている。園内研修を通して、日々の保育の中での疑問や悩みについて、掘り下げた議論がなされ、園全体の保育の質向上を図っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	ゆとりのある室内の広さを生かし、子どもが遊びたくなるような環境作りをしている
	内容	現在、幼児組のみの園であるため、保育室をゆったりと使える状況になっている。部屋には子どもの年齢発達に合わせた遊具類が子どもの手の届く棚に用意しており、遊びごとのコーナーを作っている。ままごとのコーナーのキッチンには、さまざまな手作り具材が並び、人形には着せ替え用の洋服も用意しており、手提げバックなども揃い、遊びたくなる環境になっている。木の玩具、特に積み木遊びに力を入れて種類も豊富にし、広めのスペースを用意して、床に広げて積み重ねた建造物ができており、子どもたちが続けて遊ぶことも可能な環境になっている。
2	タイトル	保護者にほっと一息入れてもらえる「ほっとティータイム」に取り組んでいる
	内容	お迎えに来た保護者にちょっとひといき、ゆくりしてもらい「ほっとティータイム」を年2回、16時～18時30分で実施している。場所は門から近い4歳児室で行い、保護者に声を掛けやすいようにしている。7月の実施では、少しでも暑さを和らげるように風鈴やすだれなどで雰囲気作りをして、お茶や少々のお菓子を用意して実施し、26名の参加があった。毎年実施しているのも、保護者も慣れてきて、お茶を飲みながら15分程度過ごして、保護者同士で話したり、職員と話をしたりして、交流の機会になっている。
3	タイトル	実際の園庭遊びを想定して、保育を議論し、実践に活かす園内研修をしている
	内容	園内研修では、グループ討議で、午前中の園庭遊びをイメージして、子どもや保育者の立ち位置などを園庭図に書き込み、意見を出し合った。保育者の意識や気配り、子どもの遊びから予想される危険などを出し合った。その後、保育実践してみて、どうであったかを持ち寄り話し合う機会も持っている。その他にも、若手職員の質問「保護者とのコミュニケーションのとりかた」などに、経験者が答える方法も取り入れて、皆で学んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	作成している手順書類をまとめて綴り、園独自のマニュアルの作成を期待する
	内容	区立園共通の危機管理マニュアルが整備されている。園独自には、「パート職員の仕事内容」「当番保育の手順」「西田保育園危機管理マニュアル」「散歩マニュアル」等を作成し、事務室に保管して、いつでもだれでも見られるようにしている。今後は、これらの基本事項や手順書類を綴るなどして「園の運営マニュアル」を作成することを期待する。このことにより、業務内容の標準化や意識の向上の一助になると思われる。
2	タイトル	園の外に出での異年齢交流を図ることで、なお一層“人と関わる力”を育む機会をつくることを期待する
	内容	平成32年3月の閉園が決まっており、定数に空きがある分の募集をしている。そのため、毎年在園児の人数も変わっていく状況のもと、子どもが安心して過ごせる園であるよう努め、グループ分けして関わる子ども同士が親しみを持てるように計画実施している。職員アンケートでも、園児が就学する近隣小学校や乳児のいる保育園との交流などの取り組みを期待するコメントが寄せられていた。園の外に出での異年齢交流を図ることで、なお一層“人と関わる力”を育む機会をつくることを期待する。
3	タイトル	チェックリストを使った園庭・園舎内の定期的な安全チェックや、ヒヤリハット用紙を活用したリスク対策などを望む
	内容	園庭・園舎内の安全管理について、職員個々が日々の保育の中で、目視で確認し、できることはすぐに解決し、必要な場合は区へ報告し、修繕している。また、ヒヤリハットした軽微なリスクに対しても、すぐに主査・園長に伝え、屋のミーティングなどを通して、対応策を講じている。今後は、口頭での話し合いだけでなく、チェックリストを使った園庭・園舎内の定期的な安全チェックや、ヒヤリハット用紙を活用したリスク対策などを望む。

## 2. 四宮保育園

四  
宮  
保  
育  
園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児76名の保護者67世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	76
利用者家族総数(世帯)	67
共通評価項目による調査対象者数	67
共通評価項目による調査の有効回答者数	54
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.6

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」2名(4%)、「母」43名(79%)、「父母一緒に」2名(4%)、無記入7名(13%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」29名(54%)、「満足」20名(37%)、「どちらともいえない」4名(7%)、「不満」1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の91%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問9「清潔、整理整頓」、問10「職員の言葉遣いや態度」であった。  
 ・総合的な感想では、「子どもが自分のペースで伸び伸びと成長していく様子を、丁寧に見守ってくれている」「先生が保育に熱心で、信頼できる」「毎日子どもが安全に楽しく過ごしている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	54	0	0	0
回答者全員が「はい」との返答で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「同年代の子どもたちとの関わりを通して、成長していると感じる」などのコメントが記入されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	53	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「様々なものに興味を持つきっかけを与えてくれている」「園庭が広く工夫された遊具や道具によって、毎日思いっきり体を動かしている」「夏の泥んこ遊びや冬の雪遊びなど、季節ごとに楽しんでいる」「園庭遊びが工夫されていて、見ていてとても楽しそう」「園庭の遊具、室内遊びの玩具が素晴らしい。子どもたちの興味を上げ、発達を促す環境が整っている」などのコメントが記入されていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	6	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「外遊びでも、思っきり砂場で遊ばせてくれたり、虫を捕まえたり、花で色水を作ったりと、自然との触れ合いを大切にしてくれている」「園庭でも十分遊べるが、近隣の公園や小学校などにも出かけていて、とてもありがたい」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	10	3	3
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、保育時間の変更に関して概ね満足を得ている。「いいえ」と返答された方からは「スポットの延長保育の利用が今年から事前予約が必須で、その枠も少ないと説明されている」「スポット保育に人数制限があるのが不便」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	41	12	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、安全対策に関して高い満足を得ている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	10	7	0
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」19%、「いいえ」19%であった。「いいえ」と返答された方からは「年間行事は年度始めにもらっているが、日付未定のものがあり、その決定の知らせが遅い」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	8	4	0
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、家庭と保育所との信頼に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「不安や悩みを相談すると、親身になって聞いてくれる」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「建物は古いですが、いつもきれいに掃除されている」「ゴミが落ちておらず、きれいに清掃されている」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	50	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	46	3	5	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「すぐに対応してくれるので、安心している」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	10	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	46	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	7	1	3
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	41	9	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育内容の説明に関して概ね満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	38	7	5	4
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	16	13	13	12
「はい」と返答した方々は回答者の30%、「どちらともいえない」24%、「いいえ」24%、非該当22%であった。「わからない」(非該当)と返答された方からは「入園時に説明があったかもしれないが、覚えていない」などのコメントが記入されていた。				



I 組織マネジメント項目 (カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

「保育目標」「保育方針」を事務所内に掲示し、職員への意識づけを図っている。

「保育目標」「保育方針」をいつでも目にすることができる事務所内に掲示し、職員への意識づけを図っている。「保育目標」「保育方針」を「園のしおり」に明示し、入園説明会で保護者に説明している。保護者には、園だよりなどを通して、保育をしていくうえで大切にしていることを、日常的に知らせている。職員は、「保育目標」「保育方針」に立ち戻り、年間指導計画・月案などを作成し、実践につなげている。その後、各会議・打ち合わせなどを通して、園が目指していることについて振り返り、確認し合っている。

園長・主査の年間計画を職員へ伝え、園一丸となって保育の質向上に取り組んでいる

園長・主査それぞれの年間計画を作成し、職員会議で報告し、年間を通して幹部層が取り組んでいきたいことを伝えている。また、杉並区の仕組みとして、2名の向上リーダーと園長・主査を保育の質向上に向けての4本柱と位置づけている。各園の向上リーダーが参集し、区直営園で横断的に情報交換し、互いに刺激し合い、自園での実践の参考にしている。また、園長会(月2回)や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。

正規職員が少人数であるため、重要案件についてすぐに話し合うことができる

昼の定例打ち合せ(週1回)・夜の職員会議(月1回)で園の重要案件について検討、決定している。夜の職員会議では、職員全体で確認し合うことについて討議したり、園内研修を実施している。昼の打ち合わせ(週1回)では、各行事の計画や反省、園長会の報告、研修報告などを議題としている。その他、クラス会議、幼児の打ち合わせ、乳児の打ち合わせ、プロジェクト(運動会、卒園式)打ち合わせなどの課題解決の場を設けている。正規職員が少人数であるため、わからないことや疑問・重要な案件をすぐに話し合うことができる組織である。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

区の「五つ星の窓口対応」の評価表を使って、自分の言動を振り返る機会を設けている

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育したり、各種研修への参加を通して、区立直営園で働く者としての守るべき倫理などについて理解を深めている。区全体で取り組んでいる「五つ星の窓口対応」の評価表を使って、年1回、無記名により、自分の言動を振り返る機会を設けている。同シートは区で統一された様式であるが、保育園で働く職員は、顧客を子ども・保護者と想定して記入している。その後、集約したものを区へ提出している。

地域の在宅親子への支援事業として「園庭開放」「ふれあい保育」などを実施している

地域の在宅親子への支援事業として、「園庭開放」「ふれあい保育」などを実施している。「園庭開放」は、月曜日から金曜日の午前中、地域の未就園の子どもや、園庭のない認証保育所の園児たちが利用している。「ふれあい保育」は、0歳児がいないため、利用が少ない。全国から見学者が訪れており、園でも積極的に見学者を受け入れ、子どもが遊んでいる午前中に案内している。また、児童館主催の子育て講座などに協力したり、区民集会所の春の集いでは、保育園コーナーを設置し、子育て相談に応じたり、遊びや遊具について伝えたりしている。

ボランティア希望の方には、ボランティアセンターに登録してもらい、受け入れている

「職場体験」「ボランティアの受け入れ」「他施設者見学」を用意し、ボランティアなどの円滑な受け入れ体制を整えている。ボランティアセンターからボランティアを受け入れているため、同センターで誓約書を交わしている。今年度、高校生が「将来保育士になりたい」と、ボランティアの希望者が訪れた。その際は、ボランティアセンターに登録してもらい、受け入れている。ボランティア受け入れにあたっては、主査が担当となり、オリエンテーションで、活動上での注意事項について説明し、その際に口頭で守秘義務について説明している。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p><b>入園説明会の時に口頭で苦情調整委員制度について周知している</b>            年度初めに「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。入園説明会の時に口頭で苦情調整委員制度について周知している。苦情・意見・要望などに対しては、丁寧に対応することを心がけている。内容によっては、ケース検討を行い、保護者・子ども・保育園の三方にとってよい解決を考えている。幼児クラスは連絡帳がないため、「連絡メモ」を各クラスに置いている。苦情に対して、担任が解決できるものは直ちに対応し、案件によっては園長、さらに区へ報告している。</p> <p><b>運動会の実施後、保護者の意向を把握し、次回の改善につなげている</b>            運動会の実施後、保護者の意見や感想を提出してもらい、保護者の意向を把握し、次回の改善につなげている。日常の送り迎え時の保護者からの要望や、連絡帳や連絡メモなどに記載された保護者の要望・意向は、各会議で取りまとめ、職員全体で共有し、対策について検討している。「不審者が心配」という保護者の声を受け、すぐに保育課へ連絡し、安全パトロール隊の見回りを強化してもらったり、近くの交番にも伝え、協力をお願いしている。また、近隣住民の苦情を受け、保護者用の駐輪場をつくっているところである。</p> <p><b>専門新聞から必要な記事を抜粋し、休憩室に掲示し、職員に知らせている</b>            区作成の「保育のあり方検討会報告書」から区の保育の方向性について情報収集し、職員へも周知している。区内の保育関係施設の長が集まる区主催の地域懇談会(年2回)に参加し、保育行政に関する情報を収集している。また、園長会や区主催の各種研修への参加を通して、保育所をめぐる動向について情報収集している。専門新聞から保育園・絵本等に関する必要な記事を休憩室に掲示し、職員に知らせている。広い視点で保育を見られるように、研修・講演会・書籍などで知り得た情報を、できるだけ職員間で共有するようにしている。</p>		

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

4 / 4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

毎月1回、担当係・役割を決めて、避難訓練を実施している

区で作成した危機管理マニュアルを保管し、災害・事故発生時、迅速に対応できるようにしている。毎月1回、担当係・役割を決めて、避難訓練を実施している。その際は、消防署と連携し、助言やアドバイスをもらっている。運動会などの大きな行事の実施時、災害を想定し、避難に関する役割分担を決めている。今年度、さらしを使って1歳児・2歳児をおんぶをして広域避難場所まで避難したり、延長保育の子どもが多いため、真っ暗になったときの訓練も行っている。

怪我などの事故発生時、緊急会議を開催し、その対策について話し合っている

怪我などの事故発生時、緊急会議を開催し、その対策について話し合い、全職員で共有している。園庭・園舎内の安全点検に関しては、チェック表を使っての定期的な点検は行っていないが、用務が気がついた時、すぐに修繕している。園での対応が難しい時は、区へ修繕を依頼している。感染症対策マニュアルを用意し、いつでも確認できるようにしている。正しい嘔吐物処理の方法や手洗いについて、園舎内各所に掲示し、職員等へ周知している。月1回、看護師が来園した際にも、感染対策についての助言・アドバイスをもらっている。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当



評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

子どもたちが安心して生活できることを最優先に考え、クラス担任を決めている

区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている。年2回以上、正規職員が園長との面談をし、目標への達成度を振り返り、職員のやる気向上を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担任を決める際は、子どもたちが安心して生活できることを最優先に考え、アンケートや職員個々との面談を実施し、職員会議で検討している。

区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員を育成している

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている。区保育課が「実務研修計画」に基づいて実施している研修は、研修目標が明確であり、内容が充実している。研修受講後は、報告書を提出すると共に、報告書や資料を一定期間、休憩室に掲示したり、主に昼の打ち合わせで、報告をしたりして、全職員での共有化を図っている。新人職員の育成では、育成担当者を配置しているが、全職員で声をかけ、同じチームの一員として、大切に育てている。

職員が自主的に外部講師を招いて、学びの物語について学び合っている

職員たちが学びたいものを決め、お金を出し合い、外部講師を招いて、学びの物語について学び合っており、職員の学びへの意欲は高い。研修受講後、良かったことがあると、事務所に集まってきた時や休憩室で伝え合っている。また、保育に良いと思う本があった場合に、他職員に紹介したり、一緒に購入している。また、一人で判断や対応ができない時には、声をかけたり、フリー保育士がクラス補助を行うなどして、チーム力を高めている。

7		カテゴリ-7	
情報の保護・共有			
サブカテゴリ-1(7-1)			
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評			
<p>「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。職員各自が保管していた個人情報の書類は、クラスごとに保管し、厳重に取り扱うよう改善した。</p> <p>区個人情報保護条例に基づいて、個人情報を運用・管理している</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また、情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。保護者への写真データの貸し出しも、個人情報保護に基づいて手順が決まっている。</p> <p>入職時の研修で個人情報保護の取扱いについて教育指導している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で、区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」という文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないでください」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が、活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。</p>			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

ミーティングノートを活用し、連絡事項の周知徹底を図っている

・毎日のミーティングで各クラスの子どもの様子を伝えることで、他クラスの子どもの様子がわかり、全職員で、怪我や病気も含めた子どもの状況を共有している。また、ミーティングノートを作成し、出席できないときの連絡漏れが少なくなっている。  
 ・ヒヤリハットを活用し、職員間で共有し、改善策を出し合っ、危機意識を高めている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「子どもの学び」の取り組みを通して、職員の子どもの観る目のスキル向上が図れている

・「杉並区保育実践方針」を基に保育の向上と充実をめざし、職員全員で保育の振り返りを行っている。今年度、さらに「子どもの学び」に注目し、指導計画会議の際、話し合いの場を設定し、振り返りを取り入れている。「子どもの学び」の取り組みを通して、職員の、子どもを観る目のスキル向上につながってきている。  
 ・若手職員のやりたいことや力を発揮できるよう支援している。若手職員は、わからないことを聞いたり調べたり、自ら行うことで、力を身につけている。若手同士で教え合うことで、話しやすくなったり、役に立っていることを感じ、役割や責任を感じ始めている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

ミーティングノートを活用し、他クラスの情報共有もしやすくなっている

・区民集会所の春祭りに乳児の遊べるおもちゃを展示することにしたので、地域の人に遊んでもらったりできるようになった。  
 ・毎日のミーティングの記録としてミーティングノートを作成し、子どもの病気や怪我等を報告するようになったので、他のクラスの情報も共有しやすくなった。  
 ・子どもの動線に配慮するとともに、子どもたちが使いやすいよう、静的な場合の環境づくりに努め、子どもにとって落ち着ける環境及び職員にとっての働きやすい職場環境の設定がより良くなった。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は、平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については、平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望や意向に真摯に対応し、改善を図っている

・保護者からの「不審者が心配」という声を受け、直ちに保育課へ連絡し、安全パトロール隊の見回りを強化してもらったり、近くの交番にも伝え、協力をお願いしている。また、近隣住民の苦情を受け、保護者用の駐輪場をつくっているところである。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		サブカテゴリ
1	サービス情報の提供		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点(0000)</p>			
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評			
<p>区のホームページや広報紙・子育て情報誌などで、情報提供している</p> <p>区のホームページ、広報紙、子育て情報誌「保育施設利用のご案内」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内から、施設情報や保育目標、主な行事、園の特色、見取り図、子どもたちの遊んでいる様子の写真などを見ることができる。園の特色として、保育室がすべて1階にある保育園で、乳児も幼児も朝夕、園庭で遊ぶことや保育室にドイツ製の玩具、園庭には可動遊具を取り入れていることなどを伝えている。園の外部向け掲示板には、園庭開放や子育て相談のポスターを掲示している。</p> <p>区立直営園であり、区の保育課や地域の関係機関と連携している</p> <p>区立直営園であり、保育課には月報などさまざまな報告をし、連携している。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流している。保育課主催の地域懇談会では、地域の私立保育園や家庭的保育などの保育施設と交流し、情報交換している。児童館が事務局を担っている地域子育てネットワークでは、年2回小学校や中学校、主任児童委員、町内会などが集まり、年間行事などの情報交換をしている。児童館の子育て講座に協力している。近隣の認証保育所と交流している。子ども家庭支援センター・保健センターには必要に応じて連絡を取り、連携している。</p> <p>見学希望は電話で受け付けて予約してもらい、園内見学をして保育の特徴を伝えている</p> <p>見学希望は電話で受け付けているが、月1回10時15分からと日程を決めて、予約してもらっている。秋は希望者が多いので月2回実施している。都合が合わない方も可能な限り受け入れている。見学者は園長あるいは主査が対応して、必要に応じて「四宮保育園の概要」を渡し、園内を案内している。園の保育では、子どもが遊びたいことを大切にして環境設定していることや、子どもの遊びの様子などを伝えている。見学者数は多く、月10名程であり12月現在70人以上が訪れている。園庭開放時にも、希望があれば個別対応をして施設を案内している。</p>			
2	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
<p>評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p style="text-align: right;">評点(000)</p>			
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

**入園内定者には入園説明会を実施して、重要事項や園生活のルールなどを説明している**  
 入園内定者には3月中旬の土曜日午前中に入園説明会を実施している。両親揃って来園するケースが多く、子どもと一緒に居てもらっている。内容は、「園のご利用にあたって(重要なお知らせ)」と「四宮保育園のしおり」や配布書類を基に、重要事項や、園の保育目標、保育方針、年間行事、防犯・防災、送迎についてのお願、健康管理、事故や災害対応、個人情報保護についてなどを説明している。また、個人情報保護の取り扱いについては説明後、保護者に同意書ももらっている。

**子どもの好きな遊びや生活リズムを大切に、子どものストレス軽減に配慮している**  
 2月下旬には内定者向けの健康診断と面接を実施して、園長が家庭や就労先の事情、要望などを聴き、保育時間を決めている。慣れ保育についての保護者の意向も聴いている。入園初日は、可能であれば親も一緒に過ごしてもらっている。保護者の就労状況や意向、子どもの状況により個別に対応して、保育時間を徐々に延ばしている。集団保育の経験がある子どもは、早めに保育時間通り預かっている。担当を決めて対応したり、その子の好きな遊びや生活リズムなどを大切にしながら進め、保護者や子どもとの信頼関係を早く築くようにしている。

**退園・転園・卒園児には運動会に招待状を郵送している**  
 退園児には、園庭開放や園行事へのお誘いをしている。転園児が公立保育園に転園する場合には、保護者の了解をえて、転園先に児童票のコピーを渡し、引き継ぎをしている。年長児の場合、小学校に保育所児童保育要録を提出する旨を、保護者に伝えている。運動会には、卒園児や退園児・転園児に招待状を郵送している。保護者に、環境が変わる事への不安がある場合には、個別に話をして、不安が軽減するように支援している。

サブカテゴリー3

3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12
---	-----------------	-------------------	-------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して、保育日誌や健康台帳、児童票などに記入している

入園時には、「健康調査票」「入園までの生活状況」を基に面接を実施して、子どもの心身や生活状況、成育歴や既往歴、食事や排泄の状況などを把握している。毎日の子どもの健康状態を体制表(園日誌)に記入し、ミーティングでは午前中の子どもの情報を共有して、保育に活用し、「保育日誌」に子どもの様子を記入している。児童票には子どもの発達状況などを記載している。また、毎月の身体測定や年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の耳鼻科・眼科健診などで、子どもの健康状態を把握し、健康カードや健康台帳に記載している。

指導計画は担任同士で話し合っ作成し、カリキュラム打ち合わせで意見交換している

指導計画(月案)はクラスの担任同士で子どもの様子やクラスの状況について振り返り、ねらいや活動が適切であったかななどを反省して、翌月のねらいや具体的活動を決め、計画を作成している。月初めに2日間のカリキュラム打ち合わせを月1回昼間に実施している。事前に一人一部ずつ配布して、意見を出し合い、計画の内容を共有している。1回目の保護者会で年間指導計画を配布して保護者に説明している。幼児組のペランダには今週の活動の予定を掲示して、保護者に知らせている。

子どもや保護者、保育に関する情報の共有の為に、さまざまな会議を開催している

子どもや保護者の変化に関する情報は、平日の14時45分から15分程度のミーティングを実施して、体制表(園日誌)に記載し共有している。参加者はクラスから1名または乳児・幼児で1名、栄養士である。内容は、午前中の子どもの様子(病気や怪我)、ヒヤリハット報告、保護者情報、翌日のアレルギー確認、職員体制などである。その他、職員会議を月1回夕方から実施し、指導計画、遊びの環境設定、献立反省、会議報告、行事の反省などを行っている。昼打ち合わせを週1回13時45分から行い、幼児・乳児打ち合わせなども実施している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 7/7

評価項目1  
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-5の講評

個人情報保護や子どもの羞恥心への配慮をしている  
 入園説明会の時に個人情報保護について話をし、同意書ももらっている。公開日誌に付けた写真を、撮影する行為を見かけたことから、再度「個人情報の取り扱いについて」の文書を配布して、個人情報の基本方針や写真の扱いについて、伝えている。また、子どもの羞恥心への配慮として、幼児トイレの奥におもらし着替えコーナーを作っている。プールやシャワーの際には、外部からは見えないように遮光ネットなどで目隠しをしている。

子ども一人ひとりの言葉や身振り、作品などを大事にしている  
 保育の振り返り記録を書き、子ども一人ひとりの言葉や仕草・表情などの行動や、その時の保育者の行動も書き留めて、子どもが感じることや心動かされていること、印象に残ったことを振り返り、職員間で共有している。子どもの言葉や身振り、作品などの表現を大事にしている。また、誕生日のお祝いは、誕生日当日に自分で選んだ誕生日バッジを付けて、皆からもお祝いの言葉をもらっている。クラスでお祝いをして、給食にはランチプレートでお子様ランチ風にして提供している。休日などで、前後の日程で実施する場合は保護者に相談している。

虐待の疑いがある時には「児童虐待の早期発見・対応のために」に沿って対応している  
 保育課や子ども家庭支援センターの研修などに参加して、虐待防止や育児困難家庭への支援について学び、周知している。園で子どもや保護者の様子から、気になる状況があり、疑いがあると感じられた時には、園長に連絡して情報を共有し、職員全員で観察し、記録を取り、事実を把握した時には、子ども家庭支援センターや保育課、保健センターなどの関係機関に連絡するなど「危機管理マニュアル」に沿って対応している。その後も、関係機関と情報を共有し、連携していくことにしている。



サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-6の講評

区立共通の「危機管理マニュアル」、園独自のマニュアルを整備している

区立保育園共通の「危機管理」「調理」「保健」「感染症の対応」などのさまざまなマニュアルが整備されている。園独自のものとして「四宮保育園散歩マニュアル」「医療機関リスト」を作成している。これらの手順書はファイル化して事務室に置き、必要な時にいつでも見ることができるようにしている。また、必要なものは事務室の壁面などに貼り、確認することができるようにしている。意見や提案などについて職員会議で検討し、決定した事項を記入する決定事項ノートを作成している。

保護者の意見や要望などは職員会議で検討し、決定事項ノートに記載し、伝えている

保護者からの意見は送迎時の会話や個人面談、保護者会などで収集している。保護者がメモに書いて持って来てくれることもある。事案が発生した時には職員会議で検討しているが、その際には、保育園、子ども、保護者の視点に立って考えて決めている。決定事項は、決定事項ノートに記載し、例えば、門の施錠についてなど、保護者に伝える必要がある事案については、園だよりに掲載したり、保護会などの機会に説明したりしている。

保育の振り返りで話しをし、目標申告シートで職員と面接を実施し、助言指導をしている

指導計画打ち合わせや定例職員会議などで、保育の振り返りをしており、気づいたことや疑問に思ったことなどを話したり助言したりしている。必要があれば、個別に話をしている。新入職員にはOJT育成担当職員を付けて、少しずつ仕事の手順などから教えている。職員は目標申告シートを提出し、年2回園長との面談をして、自分の仕事に対する姿勢を振り返り、課題に対する取り組みの進捗状況など報告し、助言をもらっている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で選んで遊びたい玩具や遊具を使えるような環境設定をしている</p> <p>保育室内は、子どもの年齢や発達に合わせた玩具類や絵本などを用意して、子どもが自分で選んで遊べるように棚などに置き、ままごと、積み木、製作、机上遊び、絵本など遊び毎のコーナーを作っている。2歳児クラスのままごとコーナーには、ラップの芯や布ひもなどを利用した手製の具材が豊富に用意され、手作りのエプロンやバックなどで、子どものつもり遊びが豊かになるように、設定している。園庭の遊具類も子どもが想像力を発揮して、遊べるように、さまざまな可動遊具を揃えて、子どもたちが自由に使えるようにしている。</p> <p>異年齢の活動では、「わくわくの日」を月1回、リズム遊びも月1回取り組んでいる</p> <p>月1回異年齢交流の日として、「わくわくの日」の活動をしている。幼児3クラスを8グループ(2グループを一人の保育士)に縦割りにして活動している。春にはグループ意識を高めるために、グループ単位で散歩に出かけたりし、製作活動などに取り組んでいる。月1回、幼児組と一緒にリズム遊びに取り組み、体を動かしている。自然な交流も盛んに行われ、園庭遊びで一緒にリレーをしたり、可動遊具を組み立ててお家作りをして、一緒に遊んだりしている。また、5歳児は給食当番として、3歳児のおやつ配膳をしている。</p> <p>子ども同士のトラブルでは、双方の子どもの思いを受けとめて対応している</p> <p>発達過程で起きる子ども同士のトラブルについては、噛んだり、引っかいたりした子ども、やられた子ども、双方の気持ちを受け止めて対応している。子どもの行動には理由があるという観点に立ち、お互いの子どもの気持ち「～したかった」をくみ、言葉に代えてやり、相手の思いも伝えるようにしている。保育中のトラブルは園の責任であると保護者に謝罪して、状況説明や子どもの思いを伝えるようにし、幼児の場合は相手の名前を伝えている。乳児では、傷になった場合には、相手の名前を伝えている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている

登園時には子どもの顔色や機嫌などの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。休み明けや前日に園で怪我をしたり、発熱したりしていた時には、詳細に健康状態を確認している。保護者に聴き取ったことなどは「朝夕受け渡し簿」に記入して、担任に引き継ぎ、これらの情報を保育に活用している。1・2歳児は複写式の連絡帳を使用し、保護者と手渡しでやり取りをしている。「朝夕受け渡し簿」には、登園時間と連絡事項、保護者への連絡事項、降園時間を記入し、連絡漏れ防止に使用している。

子どもの状況に合わせて昼寝の時間や長さなどに配慮している

1歳児クラスでは、午前睡が必要な子どもは寝かせている。年齢に応じて、布団に入る時間や長さなどを変えている。布団に横になっても眠れない子どもや早く目覚めた子どもは、静かに遊べる環境をつくっている。就学を控えた5歳児の昼寝は、保護者の意向を確認し、家庭での夜の睡眠の状況を把握した上で、時間を減らし始める時期を決めることにしているが、3月中旬以降は、休息を取り、午睡が必要な子どものみ寝かせることにしている。

降園時には一人ひとりの保護者に子どもの状況や遊びの様子などを伝えるようにしている

お迎えの保護者一人ひとりに、必要に応じて子どもの健康状態を伝え、子どもの遊びのエピソードなどを伝えるようにしている。乳児組は連絡帳を手渡ししながら子どもの様子を伝えている。幼児組の保育の様子は、貼り出し日誌で、読んでもらっている。当番保育士が対応する場合は、担任が「朝夕受け渡し簿」に記入して、口頭による引き継ぎを行っている。怪我の時など、担任が伝える必要がある場合は、保護者のお迎えを待って、担任が説明している。受診をした時などは園長または主査も、子どもの病状や受診状況などを説明している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

木製積み木遊びなど、遊びごとのコーナーを設定し、継続して遊べるようにしている

保育室は、遊びごとのコーナー作りをして、遊びたい時にその場で遊べるようにしている。木製の積み木などを用意して、床で組み立ててダイナミックに構成して遊び、なるべく週間は続けて遊べるようにしている。製作途中の小型のブロック類も続けて作ることができるように棚などに置き、遊んでいる子どものマークを置いて目印にしている。5歳児室はホールと兼用のため、遊びの継続を保証するために、端の方を利用するなどの工夫をしている。折り紙や絵描きも材料を用意して子どもが使いたい時に使え、描きたい時に描けるようにしている。

子どもの気持ちを優先して、見るだけの参加もしている

集団遊びには、見てだけの参加もあると考えている。鬼ごっこなどは、「皆でやろうか」と誘いかけをするが、入りたくない時には、本人の気持ちを優先して、見るだけの参加もしている。リズムなどでも、その日の体調や寝不足などで、やりたくない時もあるので、そのような時には強制せず、本人が入ってくるのを待つようにしている。特別な配慮が必要な子どもの場合には、本人の拒否も受け止めて、「やりたくなったら、一緒にやろうね」と伝えて、入る気持ちになるのを待つようにしている。

さまざまな表現遊びを取り入れ、自然物を使った製作などもしている

歌を歌う、絵を描く、ごっこ遊びをするなど、さまざまな表現遊びをしている。自然物を使った表現遊びもたくさん取り入れている。集めてきた木の葉や木の実などで製作したり、さつまいもの蔓でリースを作るなどしている。水や泥などを利用したべたべた・どろどろの感触遊びにも取り組んでいる。絵画は描きたい時に、描けるようにしており、出来上がった作品は、廊下や部屋のあちらこちらに展示している。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

大好きな絵本を基にしてイメージを膨らませ、皆で劇ごっこを楽しんでいる

12月の5歳児クラスの保護者会では、5歳児が劇ごっこを披露した。夏頃から、子どもの大好きな絵本の登場人物を園舎内のあちこちに置き、物語の世界を楽しんでいたところ、子どもから「このお話の劇ごっこをやりたい」との声が上がった。配役は子どもの話し合いで決められたが、物語通りの登場人物のほかにもアイデアを出し合って膨らませ、自分たちの得意なものを披露するコマ名人、逆上がり、竹馬、風を吹かす妖怪などの登場人物を作り、劇に仕上げた。本番は、他の園児と5歳の保護者を招待して、セリフも堂々と言うことができた。

運動会では日頃から取り組んできた荒馬などに取り組み、やり遂げた喜びを味わっている

しのみやひろば(運動会)では、5歳児は毎年、荒馬踊りを披露している。リズム遊びの中で荒馬に取り組んでいる。園児たちは、「年長組は運動会で馬を付けて、荒馬を踊る」と思っている。当日は雨天のため、小学校の体育館で実施し、馬を付けて笛太鼓の音に合わせて、自信をもって踊り、皆に大拍手をもらい、やり切った喜びが良い表情に現れていた。4歳児は日頃から園庭の登り棒に挑戦していたので、竹のほりを披露し全員登り切ることができた。5歳は開会の言葉、閉会の言葉、道具係などにも張り切って取り組み、一段と成長を感じる機会になった。

子どもの取り組みの様子をクラスだよりや写真などで伝えて、楽しみにしてもらっている

年度初めに年間行事予定表を配布して、予定してもらうようにしている。園だよりやクラスだより、貼り出し日誌、写真などで、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えて、楽しみにしてもらっている。保護者参加の行事の運動会は、1・2歳児は自由参加にして、地域競技の中に参加してもらっているが、今年は雨天の為に地域競技は行わなかった。幼児の保護者には、親子競技や保護者競技に参加してもらっている。運動会のご案内や見どころなどの特集号を数号発行して、取り組んでいる子どもの様子や競技のねらい、お願い事項なども伝えている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

なるべく落ち着ける慣れた保育室で過ごし、人数が少なくなってから一緒に過ごしている

朝保育は、幼児組は雨天以外の日は園庭で遊び、8時30分頃には各クラスで支度をしている。1・2歳児は8時までは2歳児室で遊び、それ以降は各保育室で受け入れをしている。夕保育では、1・2・5歳児は18時30分まで各クラスで過ごしている。3・4歳児は両方の保育室を歩き来しながら一緒に遊び、正規職員1名とパート職員2名で保育している。18時30分から延長保育になるが、乳児・幼児それぞれで補食を摂ったあと、19時15分頃に2歳児保育室に合流して過ごしている。

慣れた大人と一緒に安心して、落ち着いて遊べるようにしている

当番職員は毎日変わるが、朝夕パート職員は固定して、慣れた大人と一緒に安心して過ごせるようにしている。保育室には、マットなどを敷いてゴロゴロしたりできるようにしている。落ち着いて遊べるように遊び毎に、低いパーテーションなどで仕切り、人数が減ってきたら、他と合流して一緒に遊んでいる。子どもが興味関心のある、細い棒作りや折り紙、塗り絵などが出来るように、教材などを用意している。

長時間保育用の玩具を用意して遊んでおり、異年齢の自然な交流の場になっている

延長保育用に、普段の遊びでは使っていない目新しい玩具やカードゲームなどを用意している。異年齢と一緒に遊んでいるので、幼児の子が小さい子の名前を知っていたり、小さい子どもが年上の子どもの側で遊びを見ていたりして自然な交流が見られている。園庭遊びの時でも、なじみのある子どもに靴や靴下を脱がせてくれたり、帽子を被らせてくれたりしている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもに合わせた椅子やテーブルで、安定して座り、楽しく食事ができるようにしている

保育室内では食事の場所を決めている。1歳児室では子どもの腰の安定具合や体形などに合わせて2種の椅子を使用し、脚台や脇板などを用意して、安定して座って食べられるようにしている。子どもの身長に合わせて、乳児・幼児のテーブルの高さも調整している。乳児組では、献立の料理を全部配膳して、好きなものから食べて良いことにしている。幼児組ではデザートは最後に食べるように伝えている。

区立園共通の献立で園で手作りし、自然の美味しさを味わえる給食を提供している

給食は区立保育園共通の献立で、委託業者の職員が園で手作りしている。献立反省会を月1回実施し、栄養士が職員の意見を献立会議に反映させている。栄養バランスを考慮し、旬の食材を使い、昆布やかつおぶし、煮干などで出汁をとり、自然のおいしさを味わえる献立になっている。食の安全性を留意し、給食の実物展示や食材産地の掲示もしている。栄養士は子どもの喫食状況を巡回し、検査は園長が主査が行い、味付けの手直しもお願いしている。食物アレルギー児には、食物除去申込書を提出してもらい、代替食などで対応している。

野菜の栽培や食材の下処理経験、調理保育などに取り組んでいる

園庭の菜園やプランターを利用して、きゅうり、トマト、トウモロコシ、じゃがいも、オクラ、さつまいも、稲などの野菜を栽培している。子どもと一緒に苗植えや水やりをして生育を観察し、収穫を喜び、調理室で調理してもらって採れたてを食べている。さつまいもは焼き芋に、トウモロコシはポップコーンに使用している。近隣の畑の収穫体験に2～5歳児が招待され、じゃがいも掘りをし、蒸かして、バターや塩で食べた。豆類のさやむきやきやとうもろこしの皮むきなどの食材の下処理経験やパン作りやクッキー作りなどの調理保育も経験している。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

自分の身体の仕組みや健康に関心をもつように、健康教育などに取り組んでいる  
 看護師不在の園であるが、連携園から年間8回程度、健診の時や健康教育などに、看護師に来てもらい、幼児組を対象にして、目の話、内臓の話、セキ・くしゃみ、脳みその話などをして貰っている。手洗いうがいは、手の拭き方やペーパータオルの使い方などと一緒に保育室で実際に指導している。保育士も繰り返し伝えて身に付くようにしている。日頃の遊びの中で危険な遊び方や危ない場所なども知らせ、散歩の時には、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを知らせている。子どもの体幹を育てる取り組みとして、リズム遊びに取り組んでいる。

園医などと連携している  
 園では原則薬の預かりはしていないが、健康な日常生活を送るために与薬が必要である場合に限り、与薬申込書を提出してもらい、医師の処方薬を預かっている。現在、塗り薬を預かっている。小児科医の園医は年2回の定期健康診断で来園している。そのほか、歯科医による歯科健診や幼児対象の耳鼻科健診と眼科健診をそれぞれ年1回実施している。園医には、子どもの健康に関する相談をしたり感染症などの情報をもったりしている。

感染症などの子どもの健康維持に関する情報を保護者に提供している  
 区や保健所などから配布される子どもの健康に関するポスター類は事務室の窓や、クラスのテラス側の窓などに掲示している。感染症のお知らせや感染症発生情報は、園庭のスロープに掲示板を作り、登降園時に皆に見てもらえるようにしている。園で発生した感染症の病名、潜伏期間、主な症状などを記入して掲示し、保護者に注意を喚起している。毎月保健だよりを発行して、子どもの感染症発生状況や保健情報などを知らせている。全園児、年間通して昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

年2回の保護者会は保護者同士の懇談を企画して、交流の場になるようにしている  
 保護者会は年2回実施し、1回目は資料を用意してクラスの保育目標や年齢発達の子どもの姿を伝え、写真や映像などで、子どもたちの様子を見てもらっている。自己紹介や事前にアンケートなどで寄せられたテーマでグループ懇談などをして保護者同士の交流を図り、育児の困りごとや休日の遊び場情報などを話したりしている。子どものコマ回しの体験などもしている。2回目は、懇談の後に、子どもたちと遊んだり、取り組んできた劇や合奏などを見てもらったりしている。また、子どもたちのおやつを待つ間は、保護者の自由な交流の場になっている。

クラスだよりや個人面談などで、園での子どもの様子を伝えている  
 毎日の送迎時の保護者との会話を大事にしている。乳児組は連絡帳を使用している。幼児組は、保護者の皆様へのボードに、貼り出し日誌を掲示して保育の様子を伝えている。時には写真も掲示している。クラスだよりは月1回程度発行して、子どもたちのエピソードや成長している様子、保育者のねらいなどを伝えている。個人面談は秋頃から期間を決めて、1人に30分程度、午睡時間を利用して実施している。時間の都合がつかない場合には土曜日にも実施している。その他、要望や相談などは夕方でも受けている。個人面談の記録は児童票に記入している。

保育参観・参加は期間を設定せず、いつでも受けることにしている  
 保育参観・参加を実施しているが、期間を設定せずに、保護者の希望や都合に合わせて何時でも受けている。参観・参加後に面談をしていることもある。参観・参加の時間は、午前でも、午後のおやつ後から1時間程でも受けている。1歳児では、全員参観してもらっているが、子どもの日常の様子を見てもらうために、隠れて様子を見てもらっている。また、しのみやひろば(運動会)では幼児の保護者には、親子競技に参加してもらい、2回目の懇談会では、子どもたちの日頃の取り組みの様子を劇や合奏などで観てもらえる機会を設けている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の施設と交流し、利用してさまざまな体験をしている</p> <p>地域の高齢者施設と5歳児が年2回交流している。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)には、年1回、囲碁体験をさせてもらっている。図書館には2・3か月に1回、絵本を読んだり、借りに行ったりして、「館内では、大声を出さない、静かにする」などの図書館利用のルールを学んでいる。農業体験に参加して、じゃがいも掘りを体験している。児童館の行事でミュージカルなどを見せてもらっている。小学校の校庭で遊んだり、飼育動物を見せてもらったりし、展覧会を見学している。</p> <p>お話しボランティアが来てくれたり、運動会には地域に参加を呼びかけている</p> <p>しのみやひろば(運動会)は2年連続で雨天により会場変更をしたため、地域の人々の参加はなかった。子どもたちが作成した運動会のポスターを園内や園のフェンスに貼り、小学校、児童館、図書館、通りに面した卒園児や園児の家などにも掲示してもらっている。また、お話しボランティアが、月1回6人くらいで来園し、3・4・5歳クラスに自分たちで選んだ本を読んでもらっている。月1回図書館司書のボランティアが来てくれて、5歳児が素話を聴いている。高校生、中学生の体験も受け入れている。</p> <p>地域の子育て支援として児童館に協力したり、園庭開放を実施したりしている</p> <p>区民集会所の春まつりに園児の作品を展示していたが、今年から乳児の遊べるおもちゃなどを展示して遊んでもらっている。児童館のお祭りに協力し、昨年は人形劇、今年はパネルシアターを職員が演じて観てもらっている。児童館からの依頼で、年1回、乳児グループに該当年齢担当の保育士が、今の子どもの姿などの話をしている。毎週月～金曜日の10時から11時30分には子育て支援事業として園庭開放をして、参加者の質問などに答えている。参加者は、週1～3組くらいである。</p>		



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもにとって魅力ある園庭の環境作りに積極的に取り組んでいる	
内容①	南向きで広めの園庭には緑があり、プールや菜園、砂場や滑り台、太鼓橋などの固定遊具の他に、木のお家、スーパernet、園舎脇の樹木にはロープの手作りブランコが設置してある。ドラム管、ベンチ、テーブルなども用意して、マルチパーツやコンテナ、タイヤ、お風呂マット、お風呂椅子などの可動遊具も豊富にそろえ、子どもが使って遊べるように、用意している。築山もあり、泥団子作りができるようになっている。子どもたちは想像力を働かせて使って組み合わせたり、友達と協力し合いながらごっこ遊びを楽しんだりしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	クラスだよりを発行して、子どもの様子や園の保育を具体的に伝えようとしている	
内容②	月1回程度、クラスだよりを発行して、保護者に、子どもたちのエピソードや子ども同士のつながり、成長していく様子と子どもの発する言葉から保育士が感じたことや感動したことなどを具体的に書いて、伝えている。パンジーの花の中に毛虫がいると大騒ぎした出来事、育てたキュウリを収穫する喜びの様子、園庭の可動遊具で遊んでいる子どもたちの会話、自分でやりたい気持ちの表れなどである。利用者アンケート結果では、「園の活動が心身の発達に役立っている」100%、「興味関心をもった活動になっている」98%と大変高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル③	「学びの物語」について学び、事例討議を通して、保育のスキル向上を図っている	
内容③	自主園内研修を通して、「学びの物語」について学び、事例討議を通して、保育の充実を図っている。その結果、「子どもの行動を見るのが楽しになった」「子どものひらめきなどを記録したい」「子どもの心が動いた瞬間を見逃さず、学びの物語を記録してみようと思った」「子どもは有能な学び手という視点から保育を組み立てることで、見えてくること、楽しいことがたくさんあることを再認識した」などの職員の声が挙がっている。この取り組みを通して、職員の、子どもを親る目のスキル向上につながっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	絵本のイメージの世界で、想像豊かに遊び、楽しめるような園内の環境作りをしている
	内容	全保育室は1階で園庭に向いていて、子どもたちの出入りはすべてベランダからであり、すぐに園庭に出られる環境になっている。保育室間の移動やトイレ、調理室に行く時に使用している廊下には、子どもが好きな絵本の場面をイメージした樹木のモニュメントがあり、室内のあちこちには、絵本の登場人物が、壁に展示した作品に混ざったり、鴨居に腰かけたり、窓からのぞいたりしている。職員は登場人物たちの居場所を時々移動させて、「あれ？こんなところにいる」と子どもたちを驚かせ、おもしろがらせ、遊び心をくすぐる仕掛けとなっている。
2	タイトル	生活や遊びの場所を仕切り、子どもが思わず使いたくなるような玩具ごとのコーナー作りをしている
	内容	1歳児保育室は、朝夕の受け渡し場所や子どもたちの手洗い、着替え、食事などの生活のスペースと遊びのスペースを、子どもたちの使いやすい低い玩具棚や手製の衝立などで仕切っている。遊びのスペースは、手作りおもちゃや豊富な木製玩具、絵本のコーナー、身体を動かして遊べる階段や滑り台のあるコーナーに分けられている。子どもは自分の遊びたい場所で、思い思いに好きな玩具を使って落ち着いて遊んでいる。また、机上遊びの場としても使用される食事のコーナーは、遊び時にキルティングのカバーをかけるなど、きめ細かな配慮が行き届いている。
3	タイトル	保育の振り返り記録を書き、保育の質の向上に努めている
	内容	日々、保育を終えた後、各クラスで保育の振り返り記録を書いている。園では、保育の振り返り(学びの物語)の書き方について、外部講師を招いて学んでいる。保育中の子どもの言葉や行動、仕草、表情などで「おもしろいな」「不思議だな」「どうしてかな」「かわいいな」などと心に残ったこと、その時の保育者の行動やかけた言葉、思ったことや感じたことを振り返り記録に書いている。その事例を毎月の指導計画打ち合わせに持ち寄り、子どもへの援助の仕方について意見交換をすることで、子どもの心の読み取りが深くできるように、取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園独自の基準書や手順書を綴り、園独自のマニュアルが作成されることを期待する
	内容	区立園共通の「危機管理」「保健」「感染症」などさまざまなマニュアルが整備されている。園独自では「四宮保育園園散歩マニュアル」「医療機関リスト」を作成している。感染症発生時の対応など、必要な手順は壁に貼り確認できるようにしている。今後は、分散している手順書類を綴り、当園の業務の基準事項を入れ込んだ独自のマニュアル作成を期待したい。このことにより、職員の意識を高め、業務の効率化や質の向上につながると思われる。
2	タイトル	チェックリストを導入するなどして、なお一層の定期的に安全点検を実施することを期待する
	内容	保育室内環境設定には、日頃から整理整頓を心がけて、居心地の良い環境作りに配慮している。園庭遊びの木製の遊具類のやすり掛けやペンキ塗りなど、点検やメンテナンスを2か月に1回程実施して、破損物の処分もしている。今後は、保育室内、園庭共に、安全チェックリストを導入するなどして、なお一層の定期的に確実に安全点検が行われるよう、期待する。
3	タイトル	より良い保育に向けて、パート職員との定期的な話し合いの場の確保が望まれる
	内容	子ども・保護者の課題・ニーズは多様化・複雑化しているが、保育の現場で、パート職員の割合が大きくなっている。園長は、契約更新時の個別面談や適宜、必要に応じて非正規職員との面談を行っている。職員アンケートでは、「パート職員とのコミュニケーションをより深めるための時間を作りたい」などの意見が複数挙がっていた。パート職員との定期的な話し合いの場の確保が望まれる。